

地方独立行政法人市立吹田市民病院  
平成28年度の業務実績に関する評価結果報告書（案）

平成29年8月

地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会

## 目 次

	ページ数
はじめに	
1 評価の基本方針	1
2 評価の方法	2
3 評価の基準	2
第1 全体評価	
1 評価結果及び判断理由	3
2 全体評価に当たって考慮した内容	4
3 評価に当たっての意見、指摘等	4
第2 項目別評価	
1 第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成 するためにとるべき措置	
（1）評価結果	5
（2）判断理由及び考慮した事項、内容	5
（3）小項目評価の集計結果	6
（4）評価に当たっての意見等	7
2 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	
（1）評価結果	8
（2）判断理由及び考慮した事項、内容	8
（3）小項目評価の集計結果	9
（4）評価に当たっての意見等	9
3 第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	
（1）評価結果	10
（2）判断理由及び考慮した事項、内容	10
（3）小項目評価の集計結果	11
（4）評価に当たっての意見等	11
4 第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置	
（1）評価結果	12
（2）判断理由及び考慮した事項、内容	12
（3）小項目評価の集計結果	12
（4）評価に当たっての意見等	13

## はじめに

地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人市立吹田市民病院の平成28年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、本評価委員会において、平成26年11月27日に決定した「地方独立行政法人市立吹田市民病院 業務実績評価の基本方針」及び平成27年2月12日に決定した「地方独立行政法人市立吹田市民病院年度評価実施要領」に基づき評価を行った。

### 地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会 委員名簿（平成29年6月20日現在）

	氏 名	団体及び役職等
委員長	高 杉 豊	大阪府保健医療財団 理事長
	川 西 克 幸	吹田市医師会 会長
	峰 松 一 夫	国立循環器病研究センター 病院長
	野 口 眞 三 郎	大阪大学医学部附属病院 病院長
	村 尾 孝 之	吹田商工会議所 常議員
職務代理	足 立 泰 美	甲南大学 経済学部 准教授
	清 水 和 也	日本公認会計士協会近畿会

(敬称略)

## 1 評価の基本方針

- (1) 評価は、法人が中期目標を達成するために、業務運営の改善及び効率化が進められること及び法人の質的向上に資することを目的として行うものとする。
- (2) 評価は、年度計画及び中期計画の実施状況を確認及び分析し、法人の業務運営等について総合的に判断して行うものとする。
- (3) 評価を通じて、中期目標及び中期計画の達成に向けた取組状況等を市民にわかりやすく示すものとする。
- (4) 中期計画及び年度計画を達成するための業務運営改善や効率化等をめざした特色のある取組や様々な工夫については、中期計画及び年度計画に記載していない事項であっても、積極的に評価する。
- (5) 評価方法については、法人を取り巻く環境変化などを踏まえ、柔軟に対応するとともに、必要に応じて見直しを行うものとする。

## 2 評価の方法

評価は、「項目別評価」（小項目評価及び大項目評価）と「全体評価」により行う。「項目別評価」では、法人の小項目ごとの自己評価をもとに、法人からのヒアリング等を通じて、業務の実施状況を確認及び分析したうえで、特記事項の記載内容なども考慮し、進捗状況を総合的に勘案し5段階で評価する。

「全体評価」では、法人の「項目別評価」の結果も踏まえつつ、また、法人が各項目で実施した取組状況も考慮しながら、中期計画の進捗状況等について、記述式で総合的に評価する。

## 3 評価の基準

### (1) 小項目評価

- 5……年度計画を大幅に上回って実施している。
- 4……年度計画を上回って実施している。
- 3……年度計画を順調に実施している。
- 2……年度計画を十分に実施できていない。
- 1……年度計画を大幅に下回っている。

### (2) 大項目評価

- S……年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて特筆すべき進捗状況にある。  
(すべての小項目が3～5かつ評価委員会が特に認める場合)
- A……年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる。  
(すべての小項目が3～5)
- B……年度計画を実施し、中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる。  
(3～5の小項目の割合がおおむね9割以上)
- C……年度計画を実施したが、中期計画の実現のためにはやや遅れている。  
(3～5の小項目の割合がおおむね9割未満)
- D……年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある。  
(評価委員会が特に認める場合)

### (3) ウェイト項目

小項目の年度計画に占める軽重を評価により適切に反映するため、評価に当たり、各小項目にウェイトを設定している。

小項目評価の集計結果の表中ウェイト付けした項目は「◎」で表記し、項目数を2とし、その他の項目は「○」で表記し、項目数を1として個数及び割合を計算している。

# 第1項 全体評価

## 1 評価結果及び判断理由

地方独立行政法人市立吹田市民病院における平成28年度の全体評価の結果は、**全体として、中期計画の実現に向けて概ね計画どおりに進んでいる** である。

平成28年度の業務実績に関する評価は、5ページ以降に示すように、第2、第3及び第5の3つの項目については、評価A「年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおりに進んでいる。」と判断し、第4の項目のみ評価C「年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためにはやや遅れている。」と判断したものである。

全体評価としては、各計画項目に対する取組み状況は、全体的に計画に沿ったものであったことから、「全体として、中期計画の実現に向けて概ね計画どおりに進んでいる」と判断したものである。

ただし、経営状況については前年度と比較して増収したものの、人件費や材料費の伸びに見合う収益を確保できず、結果として、約2億7,000万円の赤字決算となり、課題の残る結果であった。次年度以降も引き続き、経営改善に向けた分析に積極的に取り組むとともに、これまで以上に収益の確保・費用の節減を図り、安定した経営基盤を確立し、市民病院としての役割を確保・維持できるように職員一丸となって経営改善に努めて頂きたい。

大項目	大項目評価	
第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するため取るべき措置	A	年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおりに進んでいる。
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するため取るべき措置	A	年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおりに進んでいる。
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するため取るべき措置	C	年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためにはやや遅れている。
第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するため取るべき措置	A	年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおりに進んでいる。

## 2 全体評価に当たって考慮した内容

中期目標・中期計画の実現に向けて、理事会及び経営戦略会議において、病院としての重点方針を明確化するとともに、経営改善に関する課題やその方策の検討を行っていることが確認できた。

まず、救急医療については、救急搬送受入件数は目標未達の結果であったが、救急部運営委員会において搬送を断った内容に重点を置いた分析を行い、オンコール体制の充実、トリアージナースの配置や開業医からの受入依頼に医師が直接対応する体制を整備するなど各科の連携・協力体制を強化し、円滑な応需体制の整備を図っているものであった。その結果、昨年度に引き続き市内全体の約4割の受け入れを行っていることが確認できた。

次に、地域医療機関との機能分担と連携に関しては、整形外科外来の完全紹介制や各診療科部長による開業医への訪問、登録医総会の開催など積極的に病診連携が推進できており、専従の広報担当職員の配置によりPR活動の強化に対する取組も確認することができた。その結果、地域医療支援病院の承認要件でもある紹介率・逆紹介率の目標値を達成できていることは大いに評価できるものであった。

また、医療職の人材確保・養成に関しては、新病院開院に向けて採用したりハビリ医療に係る医療従事者を現病院運営においても算定可能なリハビリ算定数の範囲内で有効活用できていることが確認できた。さらに、地域看護専門看護師の採用と認知症看護認定看護師を養成し、地域包括ケア及び認知症に対する院内の意識向上を図るなど、人材を有効活用できているほか、退院支援の充実や認知症患者への適切な医療の提供により、新たな加算を取得し、収益を確保できていることについても評価できた。

しかし、経営状況においては、当期純損失として約2億7千万円の赤字決算となっており、対前年度比較において医業収益で約4億900万円の増収があったものの、人件費や材料費等営業費用の約6億3,000万円の伸びに至らないものであった。経営悪化の原因として、目標の入院患者数を確保できていないことが確認できた。

## 3 評価に当たっての意見、指摘等

救急医療に関しては、市立病院の役割において主眼となるものであることから、診療所等との機能分担・連携の下、円滑な応需体制を確保していただきたい。

経営基盤の確立に関しては、経営改善に向けた課題やその方策の検討を行い、経営状況について職員全員で積極的に経営参画できる環境づくりを行っているものであったが、次年度以降も引き続き、経営改善に向けた分析に積極的に取り組むとともに、これまで以上に、収益の確保・費用の節減を図り、安定した経営基盤を確立し、市民病院としての役割を確保・維持できるよう職員一丸となって経営改善に努めていただきたい。

## 第2項 項目別評価

### 1 第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

#### (1) 評価結果

**A 年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおりに進んでいる。**

	S	A	B	C	D
評価結果	年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて特筆すべき進捗状況にある。	年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおりに進んでいる。	年度計画を実施し、中期計画の実現に向けておむね計画通り進んでいる。	年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためにはやや遅れている。	年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある。

※評価 A・・・すべての小項目が 3～5

#### (2) 判断理由及び考慮した事項、内容

小項目の取組に対する評価のすべてが評価 3 「年度計画を順調に実施している」結果であった。

目標指標の達成状況は、11 項目のうち 7 項目で目標を達成し、その他目標未達の 4 項目についても約 9 割の達成率であった。

特に、4-(2) 地域医療機関との機能分担と連携においては、地域医療支援病院の承認要件でもある紹介率・逆紹介率の目標値を達成できたことから評価 4 「年度計画を上回って実施している」ものであった。

以上のことにより、評価 A 「年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおりに進んでいる。」と判断した。

### (3) 小項目評価の集計結果

		小項目評価				
		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 市立病院と して担うべ き医療	(1) 救急医療			◎		
	(2) 小児医療、周産期医療 ア 小児医療			○		
	イ、ウ 周産期医療			○		
	(3) 災害医療			○		
	(4) 高度医療 ア、イ医療の高度専門化への対応			○		
	ウ、エ 脳卒中、心筋梗塞、糖尿病に おける機能分担			○		
	(5) がん医療の充実			○		
	(6) 予防医療			○		
	(7) 福祉保健行政との連携			○		
	小 計			10		
2 質の高い医 療の提供	(1) 安心安全な医療の提供			○		
	(2) 信頼される医療の実施			○		
	(3) 医療職の人材確保・養成			◎		
	小 計			4		
3 患者満足度 の向上	(1) 職員の接遇向上			○		
	(2) 院内環境の快適性の向上			○		
	(3) 待ち時間の改善			○		
	(4) ボランティアとの協働			○		
	(5) 市民意見の活用			○		
	小 計			5		
4 地域医療機 関等との連 携	(1) 地域医療ネットワークづく り			○		
	(2) 地域医療機関との機能分担 と連携		◎			
	小 計		2	1		
項目数合計			2	20		
評価5～3の構成比率 (%)		100%				



#### (4) 評価に当たっての意見等

##### ●1－(1) 救急医療

目標指標にある救急搬送受入件数は目標値未達であったが、応需体制の見直しを行い、改善を図ったことで、時間外救急車搬送受入率では目標値を達成し、かつ前年度の実績値を上回っているものであった。その結果、市内の救急受入状況において全体の約4割の受け入れを行うことができていることから、評価3が妥当と判断した。

##### ●1－(5) がん医療の充実

目標指標の放射線治療件数では目標値を達成できず、前年度の実績値を下回る結果であったが、その理由は、患者一人当たりの平均照射件数の減少によるものであったことが確認できた。また、その他の目標指標は、目標値を達成又は前年度の実績値を上回るものであったことから、評価3が妥当と判断した。

##### ●2－(3) 医療職の人材確保・養成

新病院開院に向けてリハビリ医療に係る人材を確保しているが、現病院運営においても算定可能なリハビリの単位数を採用した職員で確保できるよう人材を有効に活用している。また、院内保育所では、対象年齢を拡大するとともに、地域枠を設けるなど市の施策に貢献できている。さらに、認定看護師の養成に対して、希望する看護師へのサポート体制を整備し、目標指標の目標値を達成している。以上のことから評価3が妥当と判断した。

##### ●4－(2) 地域医療機関との機能分担と連携

整形外科外来を完全紹介制とし、地域の診療所等との機能分担を図っている。また、地域の医療機関と密に連携ができるよう病診連携を推進した結果、地域医療支援病院の承認要件でもある紹介率・逆紹介率の目標値を達成できたことから、評価4が妥当と判断した。

## 2 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### (1) 評価結果

#### A 年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおりに進んでいる。

	S	A	B	C	D
評価結果	年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて特筆すべき進捗状況にある。	年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおりに進んでいる。	年度計画を実施し、中期計画の実現に向けておむね計画通り進んでいる。	年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためにはやや遅れている。	年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある。

※評価 A・・・すべての小項目が 3～5

### (2) 判断理由及び考慮した事項、内容

小項目の取組に対する評価のすべてが評価 3 「年度計画を順調に実施している」結果であったことにより、評価 A 「年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおりに進んでいる。」と判断した。

### (3) 小項目評価の集計結果

		小項目評価				
		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 業務運営体制の構築	(1) 業務運営体制の構築			○		
	(2) コンプライアンスの徹底			○		
	小 計			2		
2 効率化・効果的な業務運営	(1) 適切かつ弾力的な人員配置 ア、ウ 医療環境に応じた人員配置			◎		
	イ、エ 働きやすい職場環境づくり			○		
	(2) 予算執行の弾力化			○		
	(3) 人事給与制度			○		
	小 計			5		
項目数合計				7		
評価5～3の構成比率 (%)		100%				

### (4) 評価に当たっての意見等

<p>●1－(1) 業務運営体制の構築</p> <p>(公財) 日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価を受審するためのプロジェクトチームを編成するなど、職員の業務改善への意欲の醸成を図っていることから、評価3が妥当であると判断した。</p> <p>●2－(1) 適切かつ弾力的な人員配置</p> <p>認知症看護認定看護師を養成し、認知症ケアチームを発足したことで、看護師に留まらず医療職全体の認知症に対する意識向上に繋がっている。また、地域看護専門看護師を採用することで、退院支援や在宅看護への充実が図れている。以上のことから、評価3が妥当であると判断した。</p>
--

### 3 第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

#### (1) 評価結果

C 年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためにはやや遅れている。

	S	A	B	C	D
評価結果	年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて特筆すべき進捗状況にある。	年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおりに進んでいる。	年度計画を実施し、中期計画の実現に向けておおむね計画通り進んでいる。	年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためにはやや遅れている。	年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある。

※評価C・・・3～5の小項目の割合がおおむね9割未満

#### (2) 判断理由及び考慮した事項、内容

小項目の取組に対する評価の約8割が評価2「年度計画を十分に実施できていない」結果であった。

目標指標の達成状況は、11項目のうち3項目のみとなっており、人件費や材料費等の伸びに見合う収益を確保できなかった。

以上のことにより、評価C「年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためにはやや遅れている。」と判断した。

### (3) 小項目評価の集計結果

		小項目評価				
		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1	経営基盤の確立				◎	
2 収入の確保 と費用の節 減	(1) 収入の確保 ア、イ 積極的な患者の受入れ				◎	
	ウ、エ 適切な診療報酬の確保			○		
	オ 高度医療機器の活用			○		
	(2) 費用の節減 ア 材料費の抑制				○	
	イ 経費の抑制				○	
項目数合計				2	6	
評価5～3の構成比率 (%)		25%				

### (4) 評価に当たっての意見等

<p>● 1 経営基盤の確立</p> <p>目標指標の経常収支比率及び医業収支比率が、目標値未達及び前年度の実績値を下回っており、約2億7,000万円の赤字決算と経営状況に課題が残る結果であったことから、評価2が妥当と判断した。</p> <p>● 2 - (1) 収入の確保</p> <p>病診連携の推進や広報活動など急性期の患者を受け入れる取組を強化した結果、入院・外来診療単価の目標値を達成し、前年度と比較して医業収益の増収はあったものの、目標としていた入院患者数が確保できなかった。費用の伸びに見合う収益の確保に至らず経営が悪化していることから、評価2が妥当と判断した。</p> <p>● 2 - (2) 費用の節減</p> <p>後発医薬品数量シェア率の上昇や医療材料費の削減など費用節減の取組において努力はしているものの、目標指標の人件費比率及び材料費比率が目標値未達であったことから、評価2が妥当と判断した。</p>
--

#### 4 第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

##### (1) 評価結果

A 年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおりに進んでいる。

	S	A	B	C	D
評価結果	年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて特筆すべき進捗状況にある。	年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおりに進んでいる。	年度計画を実施し、中期計画の実現に向けておむね計画通り進んでいる。	年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためにはやや遅れている。	年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある。

※評価 A・・・すべての小項目が 3～5

##### (2) 判断理由及び考慮した事項、内容

小項目の取組に対する評価のすべてが評価 3「年度計画を順調に実施している」結果であったことにより、評価 A「年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおりに進んでいる。」と判断した。

##### (3) 小項目評価の集計結果

	小項目評価				
	評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 職員の意識改革			◎		
2 情報の提供			○		
3 新病院移転計画への対応			◎		
項目数合計			5		
評価 5～3 の構成比率 (%)	100%				

#### (4) 評価に当たっての意見等

●1 職員の意識改革

職員が積極的に経営に関わることができることが可能となる様々な取組を実施し、意識改革を図っていることから、評価3が妥当と判断した。

●2 情報の提供

病院のPR活動を積極的に行うための専従の広報担当職員を配置し、広報内容の充実を図っていることから、評価3が妥当と判断した。